

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 「辺野古断念」署名を国会へ！

県民の揺るがぬ民意を届けよう！

辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議は7日、キャンプ・シュワブゲート前で「辺野古新基地建設断念を求める国会請願署名実行委員会結成集会」を開き、624人の県民が結集しました。実行委員長の稲嶺進元名護市長は「私たちは選挙や県民投票で何度も新基地建設反対の民意を示してきた。しかし、民主主義が踏みじられている。この現状を国会に届けよう」と訴えました。デニー知事が連帯のメッセージを寄せ、赤嶺政賢衆院議員ら国会議員や与党県議が県民の揺るがぬ民意を国会に届けようと連帯挨拶。三宅俊司弁護士が「現場の闘いと裁判闘争は車の両輪」と現場のたたかいの重要性と署名運動の意義を解説しました（次号詳報）。県内各地の島ぐるみ会議から草の根のたたかいの報告と決意が表明され、高里鈴代共同代表の音頭で頑張ろう三唱しました。



結成集会で「頑張ろう三唱」する参加者（写真提供・「しんぶん赤旗」）



あげましておめでとございます

### 共産党5人全員勝利とオール沖縄の前進を！ 豊見城市議選（2月5日告示、12日投票）

豊見城市議会議員選挙が2月5日告示、12日投票で行われます。岸田自公政権は敵基地攻撃能力の保有、5年間で43兆円の軍事費を予算化しようとするなど軍事大国化への道を進めています。沖縄を再び戦場にする国づくりは許せません。日本共産党候補の5人全員当選とオール沖縄の前進で、岸田政権ノー、の声を豊見城市から大きく広げましょう。写真は、7日ゲート前の日本共産党の豊見城市議予定候補。左から新垣りゅうじ（現）、瀬長ひろし（現）、高山みゆき（新）、まえさと保（現）、瀬長つねお（現）。



## “沖縄人民党が日本共産党に合流50年の記念の年” 共産党沖縄県委員会が「新春のつどい」開催

日本共産党沖縄県委員会は9日、「2023年新春のつどい」を那覇市内で開催、約1000人が参加しました。赤嶺政賢県委員長（衆院議員）が「今年には、沖縄人民党が日本共産党に合流して50年目の記念すべき年です。岸田内閣が安保3文書を閣議決定し、アメリカと戦争する国へと実践的に足を踏み出しているもとの、沖縄を再び戦場にしないためにも日本共産党を強く大きくし、オール沖縄を前進させることが重要になっていきます。岸田政権を打倒し、希望ある新しい政治をつくる旗を掲げて頑張りましょう」と訴えました。

### 照屋副知事と国政野党代表など挨拶

照屋義実副知事、新垣邦男衆院議員（社民党副党首）、伊波洋一参院議員、高良鉄美参院議員（社大党委員長）、オール沖縄会議の金城徹共同代表、新婦人県本部久手堅幸子会長、新垣安夫社保協代表、新川秀清嘉手納爆音訴訟原告団長などが挨拶しました。1か月後に迫った豊見城市議選での日本共産党の5候補が紹介されました。



写真は、左から伊波洋一参院議員、照屋義実副知事、赤嶺政賢県委員長、新垣邦男衆院議員、高良鉄美参院議員、金城徹氏